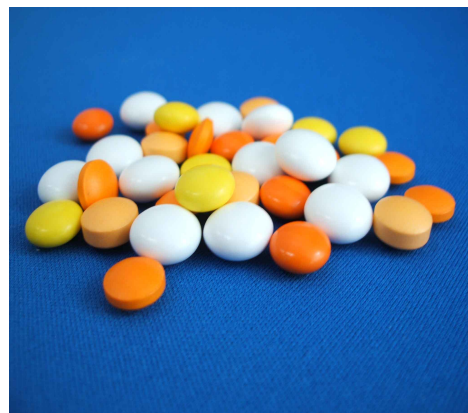


光沢化剤 **ポリシングワックス-105**

ポリシングワックス-105 は、微粉末状の日本薬局方 カルナウバロウです。
植物性のロウの中で最も融点が高く、光沢のある被膜を形成しますので、特に錠剤の艶出しに有用です。

《特長》

- ◆糖衣錠、フィルムコーティング錠等に艶出しができます。
- ◆錠剤の滑りを良くし、作業性を向上させます。
- ◆ワックスマトリックス形成剤としても有用です。



《粉体物性》

* 物性値は代表値であり、規格ではありません。

平均粒子径	安息角	かさ密度	
		loose	tap
14 μ m	45°	0.25g/mL	0.51g/mL

《艶出し方法例》

錠剤への艶出しは一般的に以下の手順で行います。

工程1

コーティング装置の給排気を停止します。パンを回転させポリシングワックス-105 を錠剤表面に散布します(錠剤に対しおよそ 0.01%)。錠剤が滑らないよう次第にパン回転数を上げて数分間保持します。

工程2

艶が得られるまで工程1を繰り返します(一般的には 3~4 回)。

工程3

最後に給排気を数分間運転し、錠剤表面に付着した余分なワックスの粉末を除きます。

全自動糖衣フィルムコーティング装置<アクアコーター®>による糖衣錠への艶出し操作条件(例)

《使用装置》 アクアコーター® AQC-100

《錠剤》 糖衣錠 70kg (400mg/錠)

《ポリシングワックス-105の散布量》 15g (糖衣錠に対しおよそ 0.02%)

艶出し 処理数	ポリシングワックス-105 散布量	パン回転数	艶出し 処理時間	粉取り 処理時間
1	5g	4→10rpm	6.5min	-----
2	5g	10→14rpm	8.5min	-----
3	5g	14→18rpm	8.5min	-----
粉取り	-----	18rpm	-----	5min



アクアコーター®AQC-100

